

授業科目名	人と動物の関係論	単位数	2
担当教員名	くろとりひでとし 黒鳥 英俊	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	動物園の勤務経験がある教員が、その経験を生かして講義にあたって いる。		
「学位授与の方針」との関係 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。			
授業の到達目標及びテーマ 動物園を通じて人と動物のかかわりについて理解する。			
授業の概要 動物園を通じて人と動物の関わりについて類人猿を中心に講義します。いま動物園は展示だけではなく教育や研究や野生の保全に力を入れています。さらに動物にとっても福祉が今まで以上に求められています。過去からいままでの観客や市民にとって動物園はどのようなものでこれからどこに向かっていくのか理解できます。			
授業計画 第1回：動物園の概要 第2回：動物園の歴史 第3回：動物園の仕事 第4回：動物園の教育 第5回：保全・研究 第6回：飼育管理 第7回：飼育管理 第8回：動物園のエサ 第9回：動物の展示 第10回：動物園の施設 第11回：チンプ（チンパンジー） 第12回：ゴリラ 第13回：オランウータン 第14回：類人猿の保全 第15回：これからの動物園 定期試験			
スクーリングでの学修内容 第1回～15回すべて行う。			
テキスト 「恋するサル」黒鳥 英俊著 （2020）CCCメディアハウス 1,500円 （開講前に目を通しておくと概要がわかります）			
参考書・参考資料等 (1)「改訂版 新飼育ハンドブック」1～5（2020）公財・日本動物園水族館協会 (2)『動物園学入門』村田浩二・成島悦雄・原久美子編（2014）浅倉書店			

(3) 『動物園学』 村田浩二・楠田哲士 監訳 (2011) 文永堂 など
(高価で入手が難しいためあくまで参考程度にしてください)

学生に対する評価

レポート評価 (25%)、スクーリング評価 (25%)、科目履修試験またはレポート (50%) の割合で総合して評価する。